

昭和36年10月1日発行

# 日光市報

10月号  
(通68号)

栃木県日光市中鉢石町999  
日光市役所  
編集統計広報係  
印刷(有)神山印刷所

## 秋季交通安全運動

11日～20日

### 規則を守って事故をなくそう

新しい道路交通法施行後も交通事故は、あいかわらず、毎日死傷者を出している。とくに多いのが、車両対歩行者の事故。こうした事故をなくするのは、おたがい自身の注意がなによりたいせつだが、まず道路交通法を、各自が尊

重することからはじまる。10月11日から20日までは、秋の全国交通安全運動で、運転者も歩行者も、おたがいに規則を守って、注意しあう心をたかめる運動をもりあげる。

(写真、注意しながら通学する日光小学校児童)

この日午前11時30分、市長は日光市の防災対策について、市内主要機関の長職の参集を求め、協議を行い、この結果各機関と密接に連携し協力することになり、市長(消防長)を本部長として、台風に対処したが、結果的には、進路がはずれたため、予想外に少ない被害でした。

また台風による杉並木の倒木を警戒し、並木下に住居を有する相生町以東野口までの住民に避難命令を発し、東中学校に三十七世帯、百四十五名、野口小学校に十八世帯、六十六人が、午後八時まで避難したが、台風が通過する最大のヤマと予想されていた午後8時半ごろには、その進路がかわり日本海にぬけたため、予想外に少い被害に止った。こんどの18号台風は、早くから注意報や警報が発令され、さわぎが大きかったため、各地とも早めに避難命令が出されたり、対策がたてられ、人命の損失がわりに少なかつたことは、せめてもの幸いであった。

年々くり返される台風害も、日光市は幸い地の利に恵まれ、他所に比べて被害は少ないが、突然に起る災害に対しても、不断の準備と心構えをもって対処することが必要であり、こんどの台風策の経験は決して無駄だったとはいえない。

超A型級といわれる台風18号は、16日朝四国喜島岬に上陸、その後、進路を京阪神、福井、佐渡、秋田にとって北上した。中心気圧九百三十ミリバール。半径三百七十キロにおよぶ大きい台風であった。この台風は、とくに風が強いとのことで、杉並木の倒れることが予想され、市役所にはじめての台風対策本部を設置して、台風に対処したが、結果的には、進路がはずれたため、予想外に少ない被害でした。

この日午前11時30分、市長は日光市の防災対策について、市内主要機関の長職の参集を求め、協議を行い、この結果各機関と密接に連携し協力することになり、市長(消防長)を本部長として、総務、水防、警備、監理(土木、河川)救助(避難)衛生(防疫・医療)輸送通信、給水、物資の各部を設け、消防団員および市役所男子職員の全員待機命令を発した。



(台風対策本部)

8	7	6	5	4	3	2	1
主な記事(数字はページ)	まちの話題	市政ニュース	展望	秋季交通安全運動、市政	公聴の記録、窓口案内、レクリエーション案内、市民の社会科(上水道)	掲示板、今月の問題	8月の中の出生・死亡
8月の中の出生・死亡	わたくしなら日光市民はよく風習をそぞろてしまう	ともしび、学園ニュース	季節の手帳、市政トピック	33.170	33人 12人	7.558	33人 12人
わたくしなら日光市民はよく風習をそぞろてしまう	わたくしなら日光市民はよく風習をそぞろてしまう	ともしび、学園ニュース	季節の手帳、市政トピック	16.136	16.136	33人 12人	16.136
わたくしなら日光市民はよく風習をそぞろてしまう	わたくしなら日光市民はよく風習をそぞろてしまう	ともしび、学園ニュース	季節の手帳、市政トピック	17.034	17.034	17.034	17.034

### 日光市の人口 (9月1日現在)

世帯数	7,558	8月の中の出生・死亡
人口	33,170	33人 12人
	16,136	16.136
男女	17,034	17.034

